

## 令和6年度原子力防災訓練における前年度課題への対応状況

令和6年度訓練における前年度（令和5年度）課題への対応状況は、次のとおり。

	課題（令和5年度）	令和6年度訓練での対応
1	海路・空路避難訓練において、天候の状況等に応じた対応が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>天候不良等で避難が困難となる場合を想定し、指定避難所等での屋内退避訓練を実施</p> <p style="text-align: right;">【住民避難・誘導訓練】</p>
2	放射線防護対策施設の設備稼働や運用手順確認等の訓練に、より多くの住民参加が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>放射線防護対策施設において、自主防災組織等の地域住民61人による設備稼働訓練を実施(昨年度37人)</p> <p style="text-align: right;">【住民避難・誘導訓練】</p>
3	緊急時モニタリングセンター設置前（警戒事態）における、県の対応手順を確認できる訓練が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>訓練シナリオに地震発生直後の被災状況の収集、県モニタリング本部の活動等、初動対応を追加した図上訓練を実施</p> <p style="text-align: right;">【緊急時モニタリング訓練等】</p>
4	放射性物質放出前の海上モニタリングの確実な実施に向けた体制強化が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>新たに県漁業取締船2隻を活用した海上モニタリング訓練を実施(昨年度:海上保安庁船舶1隻)</p> <p style="text-align: right;">【住民避難・誘導訓練】</p>
5	避難退域時検査など原子力災害特有の避難行動に関する住民への説明の充実が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>避難退域時検査会場において専門家による検査手順の説明を実施したほか、避難所等において原子力防災に関する講習会を実施</p> <p style="text-align: right;">【原子力災害医療活動訓練】</p>
6	県災害対策本部とオフサイトセンター間で、円滑な情報共有ができるよう改善が必要	<p>以下のとおり対応</p> <p>原子力防災ネットワークシステムを活用した情報共有手順を整理したほか、参加要員向けの研修会を実施</p> <p style="text-align: right;">【県災害対策本部及びオフサイトセンター運営訓練】</p>